

議会だより



輝く未来を子ども達へ



目次

2～4ページ…… 議会報告
5～6ページ…… 一般質問

7ページ…… 議会インフォメーション
8ページ…… 活動報告・編集後記

〔表紙：泉崎第一小学校〕

平成28年 第3回 9月定例会報告

会 期：平成28年9月8日(木)
 ～9月16日(金)

議 案：認定4件、報告3件、議案10件

一般質問：9月13日(火) 2名



	提出議案 / 概要	可・否
認定第1号	<p>平成27年度泉崎村歳入歳出決算の認定について</p> <p>○一般会計 歳入総額66億2583万7909円 歳出総額61億876万4300円 繰り越し明許による繰り越し財源3779万9千円、事故繰越し1千万円 実質収支4億6927万4609円の黒字決算</p> <p>○国民健康保険特別会計 歳入総額9億372万1千円 歳出総額8億9763万7千円 実質収支608万4千円の黒字決算</p> <p>○介護保険特別会計 歳入総額5億4758万4千円 歳出総額5億1198万円 実質収支3560万4千円の黒字決算</p> <p>○後期高齢者医療特別会計 歳入総額5315万6千円 歳出総額4981万4千円 実質収支334万2千円の黒字決算</p> <p>○介護老人保健施設特別会計 歳入総額38万4千円 歳出総額37万9千円 実質収支5千円の黒字決算</p> <p>○農業集落排水処理事業特別会計 歳入総額2億1857万9千円 歳出総額2億1129万5千円 実質収支728万4千円の黒字決算</p>	認定
認定第2号	<p>平成27年度泉崎村水道事業会計決算の認定について</p> <p>収益的収入2億5240万1000円、収益的支出2億1269万9000円、損益計算においては、3970万5200円の純利益となるもの。</p>	認定
認定第3号	<p>平成27年度泉崎村工業用地造成事業会計決算について</p> <p>収益的収入1億2847万6330円、収益的支出1億868万4175円、損益計算においては、1979万2155円の純利益となるもの。</p>	認定
認定第4号	<p>平成27年度泉崎村住宅用地造成事業会計決算について</p> <p>収益的収入4152万4362円、収益的支出2692万3655円、損益計算においては、1460万3997円の純利益となるもの。</p>	認定
報告第4号	<p>平成27年度決算に基づく健全化判断比率等の状況について</p> <p>実質公債比率 8.8% (前年度9.2%) 3ヶ年平均 将来負担比率 41.8% (前年度58.1%) 前年度より16.3ポイント減少</p>	報告

報告第5号	村が資本金を出資している法人の経営状況に係る書類提出の件 地方自治法第243条の3第2項の規定に基づき、平成27年度の泉崎観光株式会社の第27期の経営状況の報告を受けたもの。	報	告
報告第6号	平成27年度白河地方土地開発公社の経営状況に係る書類提出の件 地方自治法第243条の3第2項の規定に基づき、平成27年度の白河地方土地開発公社の経営状況の報告を受けたもの。	報	告
議案第45号	泉崎村新入学小学生祝品贈呈に関する条例 村の人口の増加と活性化、就学児童の入学を祝福し、子どもの心身の健やかな成長を期待し、新入学児童に入学祝い品として学童ランドセルを贈ることを目的とした条例の制定。	原	案 可 決
議案第46号	泉崎村税特別措置条例の一部を改正する条例 東日本大震災復興特別区域法及び福島復興再生特別措置法等の法律に係る総務省令の一部改正により、集積区域における固定資産税の課税免除とする同意日を平成29年3月31日に改めるなど所要の改正を行なうもの。	原	案 可 決
議案第47号	泉崎村定住促進条例の一部を改正する条例 平成28年9月30日付けで有効期限を迎えることから、引き続き都橋、天王台の販売を促進させるため、更に6か月延長するもの。	原	案 可 決
議案第48号	泉崎村地域開発事業に係る土地売却に伴う精算について 泉崎村地域開発事業の設置等に関する条例第8条に基づき、地域開発事業の資産処分に伴う清算を行うもの。	原	案 可 決
議案第49号	平成28年度泉崎村一般会計補正予算(第2号) 主な補正予算 歳入 歳出 民生費国庫補助金 104万2千円 駐車場土地購入費 1515万 土木費国庫補助金 152万5千円 保健福祉センター舗装工事費 1,100万 総務費国庫補助金 168万4千円 野球場改修工事費 250万円(他) (他) 予算総額を42億4120万2千円とするもの。	原	案 可 決
議案第50号	平成28年度泉崎村国民健康保険特別会計補正予算(第1号) 規定の歳入歳出予算の総額に478万7千円を増額し、歳入歳出の予算の総額を8億8398万円とするもの。	原	案 可 決
議案第51号	平成28年度泉崎村後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) 規定の歳入歳出予算の総額に304万1千円を増額し、歳入歳出の予算の総額を5100万6千円とするもの。	原	案 可 決
議案第52号	平成28年度泉崎村介護保険特別会計補正予算(第1号) 歳入歳出それぞれ3636万9千円を追加し、予算総額を5億5745万5千円とするもの。	原	案 可 決
議案第53号	平成28年度泉崎村工業用地造成事業会計補正予算(第1号) 収益的支出において営業費用3億3637万4千円を増額し、資本的支出において一般会計納付金1979万3千円、一般会計出資金返還金1千円を計上するもの。	原	案 可 決
議案第54号	平成28年度泉崎村住宅用地造成事業会計補正予算(第1号) 資本的支出において一般会計納付金1460万4千円を補正計上するもの。	原	案 可 決

陳情書	件名	提出者
陳情書第5号	農業用水路について 水路の幅が狭い為、雨水で圃場が被害を受けている。対策をお願いする陳情書。	太田川地区 区長 小林一美氏 太田川地域資源保全会代表 大森健男氏

決算総額 66億2,583万7,909円

平成27年度決算認定！ 4億6927万4609円の黒字決算に

が認められます。
 今後、高齢化社会の進展などによる社会福祉費の増大、特別会計への繰出金、泉崎駅東口開発事業などの負担が見込まれる部分もあることから、長期的な視点に立って健全なる財政運営に、より一層努められるよう望むものであります。

村では自主的財政再建計画に基づき、歳出の削減を図るなど、財政の健全化に向けた努力の跡が認められます。
 今後、高齢化社会の進展などによる社会福祉費の増大、特別会計への繰出金、泉崎駅東口開発事業などの負担が見込まれる部分もあることから、長期的な視点に立って健全なる財政運営に、より一層努められるよう望むものであります。

○歳出総額 61億876万4300円
 ○翌年度へ繰り越す事業は 9事業 3779万9千円
 ○事故繰越額 1000万円

監査委員 意見



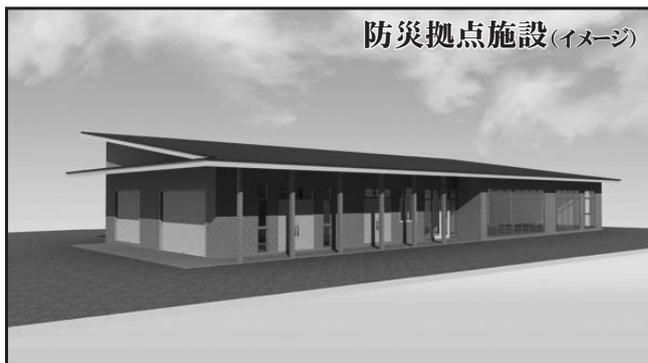
代表監査委員 瀧 昇氏

平成27年度 重点事業内容 (抜粋)



役場庁舎建設事業	9億5523万円
公衆無線LAN整備事業	612万5943円
資料館等（3箇所）に公衆無線LANを整備	
観光施設ホームページ作成事業	415万8千円
住宅用太陽光発電システム設置補助金	157万6千円

防災拠点施設整備事業	297万円
旧庁舎跡地に防災拠点、避難所の建設のための基本設計を行う	
防犯灯LED電灯交換工事	775万円
灯具を寿命の長いLEDに切り替え、電気料の節減を図る	
防犯灯設置工事	56万9160円
村内の防犯対策強化のため	
八雲・泉崎長峯地区	6基
踏瀬長峯地区	4基



防災拠点施設(イメージ)



児童公園広場

児童公園広場整備事業	7082万円
さつき公園内に児童公園を整備	
小中学校常勤講師賃金	1190万9853円
きめ細かな教育を推進する	
泉崎中学校体育館天井等落下防止対策工事	4968万円
泉崎幼稚園道路改良工事	517万2120円
泉崎村保育所污水管工事	162万円



一般質問

鈴木 清美
議員

一、陳情について

二、東口開発について

鈴木 陳情書、要望書の優先順位とはどのように実施されるのか。

総務グループ長 事業の優先順位は住民の生命、財産、安全に関する事項が最優先です。本村振興計画、土地利用計画の検討を行い補助制度の活用、財政面と協議し、予算査定し来年度事業の着手に向け検討を行う形を取っています。

鈴木 出される年度で早いか遅いか。
総務グループ長 必要性を考慮して順位をつけている。

鈴木 危険な箇所は村内に何か所もあります。踏瀨地区の村道、矢吹と泉崎を結ぶ丸山自工の所です。平成6年に陳情されていると役場の資料の中にありますが、実際は平成元年に陳情されているのです。約28年放置されている。

建設水道グループ長 資料をまんべんなく見ても平成6年から資料の方に記載されています。紛失というもののへんは無いです。

鈴木 財政再建を成し遂げた時期、それも28年間も放置しておく変な場所です。用地買収されているのか。

建設水道グループ長 登記簿謄本を調べ平成6年5月9日付で売買し平成6年12

月19日付で登記され村の名義となっています。

鈴木 村長選挙の前に踏瀨の人たちのために丁張をかけた選挙が終わると外されたことが2度程あった道路です。地区全体の強い思いです。

村長 非常に危険箇所と良く覚えています。現実にはどの位かかるのか。今の段階で拡張だけで可能なのか。私も現場を見て危険度はあると思いますので検討したいと思います。

建設水道グループ長 工事費、補償費についてはN T Tに確認したところ、5千万位かかる。工事費5千万、橋桁の架け替えに5千万位で1億5千万位かかります。後、補助事業を視野に今後関係機関と協議し年次計画を進めたい。

村長 実際に測量をしたわけではありません。調査費若干200万から300万かかると思いますのでその方向で考えていきたい。具体的な数値で再度協議します。

鈴木 計画を組み数字のしつかりしたものをつくる。28年間放置せず、難しいのであれば2期工、3期工でやり直すなど、踏瀨の住民に知らせることが一番必要ではないかと思うのです。

村長 真剣に取り組んでいきたいと思えます。

鈴木 今年の陳情で道路東側の側溝を要望しています。建設水道グループ長 年次計画で来年度当初の予算要求に計上して要求を進めていきたい。

鈴木 10月1日で予算付けされる予定ですので、しっかり予算してください。

次に東口の開発について。そろそろ駅の具体的な話になっていくと思います。まず、駅の利用者数はどうか。

企画財政グループ長 9月1日に現地調査を実施し、白河方面351人。郡山方面364人で合計715人の状況です。村内543人。村外173人。泉崎駅東口整備基本計画をJR協議と並行して進めているところ。また、東口の設置及び、駅周辺利用計画の具体化についても取り組んでいるところです。

鈴木 駅を造るとなると、全部実費でやるのか。どのような駅を造るのか。

企画財政グループ長 平成17年に作成したものをベースに検討。財源的には村単独の事業です。

鈴木 本日に駅が必要なのか天王台の方や地域の方と話し合いをしては。

村長 原則は1駅1方向の乗降が原則です。両側が必要となると理由付けが非常に大事です。天王台の皆さん含めて行政の継続性が必要と思っています。JRコンサルにお願ひしています。何とか早く実現したい。

鈴木 駅を造って利用することが大事である。天王台に造った賃貸住宅を八雲団地に造るなど、村の施策を考えて利用価値をつくっていくことが大事なこと。近隣市町村と連携し、陳情を上げること、補助を受けることもできるのではない。

か。以前、新白河駅のエレベーターに隣近所の市町村で補助を出した事がありますね。

村長 新白河駅のエレベーターの設置の時に負担を出した記憶があります。今、地域を守るため村全体を考

えて、説得しています。中島村、白河の東地区利用者もいますので、毎月の首長会の中で話ができればと思っています。

総務グループ長 白河市、泉崎、中島、矢吹、西郷村の当時の人口割合で案分

ています。

です。

一般質問

飛知和良子
議員

一、クリーンアップについて

二、焚き火について

三、無料職業紹介所について



飛知和 クリーンアップについては村民の皆様には長い間参加して頂き深く感謝致しております。さて、ここ3、4年は年に3回となりました。最近では部落の関わりも少なくなる中で、元氣な顔を合わせることで愛郷心とか村をきれいに心が芽生え大変良い機会だと考えている。我が村は自分の手で村をきれいにすることは村民の誇りであり、この行事は泉崎村の習慣として村民の絆として、今後も末永く続けて欲しい。今後、毎年3回行っていくのか。その理由と根拠をお聞かせ下さい。

住民グループ長 住民の負担軽減に配慮し、25年度より現行の3回の実施とした。次年度以降のクリーンアップ作戦については今後検討上、実施方針を固めて参りたい。

飛知和 3回目を9月にやると10月・11月と草がのびる時期や秋の長雨になります。その点もお聞きしたい。

住民グループ長 村民の自主的な環境整備への誘導を視野に入れ検討したい。
飛知和 最近、焚き火をし

ていることが多くなり、部落の方からも通報があり、又役場も放送などで注意はしているのですが、放送が終わると又、始まる。周囲の生活環境、地球温暖化など心配であり、一人一人の意識改革、習慣かと考えられますので、放送とか広報など徹底してやって欲しい。村側では、どのようにしたら焚き火が防げるのか方法を考えがありましたらお聞かせください。

住民グループ長 家庭の庭先でのゴミの焼却に係る苦情の電話は役場にも多く寄せられている。防災無線を利用して、ゴミの焼却禁止を訴えているが減らない。村としては情報提供者に迷惑がかからない方法で直接現地に向き指導し家庭でのゴミの焼却禁止について対処したい。又防災無線、広報や回覧文書の配布を徹底していきたい。

飛知和 教育長にお願いがあるのですが家庭の教育、子ども達に声かけを関係者の方々に協力をお願いしたい。

教育長 大人が焚き火を不用意にする事は子どもの教育上よろしくない。大人が

いい姿を子ども達に見せていくことが大事である。皆さんで地域の教育力の向上にご協力していきたい。

飛知和 今後家庭内での会話で、焚き火はだめであるということ子ども達と共有していく指導をお願いしたい。

無料職業紹介所の位置づけ、趣旨として工業団地の誘致と共に団地の販売を促進し、人口増の事業の一環として考えた事だと理解しております。当時、泉崎村の宅地を求めても仕事が無いという宅地を求めた人たちの声が大でありました。村独自の政策として職業紹介所の看板を掲げた経緯があり、当時は1名の専門の嘱託の方もいた。現在は中核工業団地、天王台も残り少なく、行政の販売の努力が見られる。泉崎村も今後なお一層の人口減少の政策にも取り組んでいかなければならない。今後、職業紹介所の今後の活用はどうするのか。

産業グループ長 無料職業紹介所の設置については、飛知和議員から話がありましたが、現役代の方が天王台に移住を希望するが働く場所が無いといった場合に働く場所を紹介し、移住を促し販売促進につなげた。企業から直接求人者の情報は年に数件、ハローワークと情報を共有し職を求めている方への情報提供を行っている状況である。

飛知和 無料職業紹介所は大変良いと思っている。前年度に一人入社したいという事で今年度岐阜プラスチックで増築した際に頼んでいたのですが、時すでに遅く入社できなかった。やはり職業紹介の看板を掲げている限り、このようなことでは遺憾なので、今後どういうふうにするのか。

産業グループ長 今後、相談ありました方、本人の要望にそうように努力をし、なるべく一人でも多くの方が職業を求められるよう努力する。

飛知和 泉崎には多くの工業団地があるので、職員は自分の足で歩いて、今後一人でも多くの雇用につなげるよう職員を教育して実施してください。

第1回 議長杯パークゴルフ大会

○8月21日(日) 泉崎パークゴルフ場

第1回目の議長杯パークゴルフ大会が開催されました。村内、村外から多くの参加があり盛大に行われました。

【成績結果】

- 1位 関 正典さん
- 2位 芳賀 昭二さん ～おめでとうございます！～
- 3位 志賀 真芳さん



西白河地方町村議会議員研修会

○8月26日(金) 西郷村商工会館

西白河町村議会議長会主催の研修会が西郷村の商工会館において開催されました。

講師に時事通信社特別解説委員の田崎史郎氏を招いての講演会でした。

常任委員会報告 ・ 経済文教常任委員会 ・

○9月13日(火)

議会終了後、経済文教常任委員会に付託された陳情書1件を審議いたしました。

太田川地区区長、太田川地域資源保全会代表より陳情のありました太田川地区の農業用水路について審議いたしました。実際に現場の視察を行い、状況の確認を行いました。側溝が狭い為、大雨の際、水が溢れ田んぼへの影響が出ている状況です。審議の結果、採択とすることにいたしました。



「議会中継(録画)及び会議録検索システムが利用できます。」
スマートフォンからも録画映像を見ることができるようになりました!



(平成28年6月定例会からの録画中継になります。)

～泉崎村のホームページからご覧ください～
泉崎村ホームページアドレス:

<http://www.vill.izumizaki.fukushima.jp/>



～アクセス件数～

会議録 月平均56.8件 (延べ件数 4,031件)

議会映像 月平均64.8件 (延べ件数 4,666件)

視察来庁

小野町議会 特別委員会(9月27日)



西郷村議会 特別委員会(7月19日)



小野町議会の公共施設検討特別委員会、西郷村議会の福祉の推進特別委員会の皆様が庁舎の視察、パークゴルフ場の視察のため来庁されました。

* 泉崎第一小学校活動写真 *



異文化体験



書写指導



音読指導

次期定例会のお知らせ！
12月8日(木)からの予定です。
 一般質問は12月13日(火)の予定

議会活動報告

7月

- 13日 泉崎村交通対策協議会
- 15日 交通安全テント村
- 22日 会津田島祇園祭交流会
- 26日 例月出納検査
- 27日 一般国道4号4車線整備促進
期成同盟会総会
- 29日 泉崎村防災拠点施設建設工事起工式
- 31日 福島県消防操法白河支部大会

8月

- 4日 平成27年度歳入歳出決算監査(～5日)
- 10日 広域組合議会・町村議会議長会定例会
- 21日 第1回 議長杯パークゴルフ大会
- 24日 町村議会正副議長・事務局長研修会
- 25日 例月出納検査・フジ機工 起工式
- 26日 西白河地方町村議会議員研修会

9月

- 5日 議会運営委員会

編集後記

最近マスクミで騒がれ、ニュースや報道番組で注目されているのが、富山市議会の政務調査費不正使用問題や、国会議員の白紙領収書使用問題。そして東京都築地市場の移転に絡む豊洲市場の地下空間問題。どれも議員のモラルと議会の仕事に関係する話です。

この機会に他山の石として、議会議員の仕事である批判と監視、そして政策の決定という重要な役割をもう一度考えてみたい。西郷村議会や小野町議会の特別委員会が、この間、視察研修に泉崎村を訪れている。他町村の行政に学ぶことは大事です。
 (M・S)

編集・発行責任者 鈴木 盛利
 編集委員長 鈴木 盛利
 委員長 廣瀬 英一
 副委員長 中野 目正治
 委員 田崎 能信
 白石 正雄
 鈴木 盛利